

令和6年3月1日

狛江市教育長

柏原 聖子様

狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会

委員長 猪瀬 政幸

狛江市立学校における休日の部活動に関する地域移行の導入に関する

検討結果について（答申）

令和5年1月31日付け狛教教指発第001285号により諮問を受けた、狛江市立学校における休日の部活動に関する地域移行の導入に当たり必要な事項について、別紙のとおり答申いたします。

狛江市立学校における休日の部活動に関する地域移行の導入に関する
検討結果について(答申)

令和6年3月

狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会

狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会

- 第1回 令和5年1月31日(火) 狛江市立狛江第三中学校 会議室
- 第2回 令和5年3月3日(金) 狛江市立狛江第三中学校 会議室
- 第3回 令和5年4月18日(火) 狛江市防災センター 302会議室
- 第4回 令和5年6月28日(水) 狛江市防災センター 302会議室
- 第5回 令和5年9月25日(月) 狛江市防災センター 402会議室
- 第6回 令和5年12月21日(木) 狛江市立狛江第三中学校 会議室
- 第7回 令和6年2月26日(月) 狛江市立狛江第三中学校 会議室

協議内容

① 部活動ガイドラインの改訂について

スポーツ庁及び文化庁から令和4年12月に示された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」及び東京都が作成した「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を踏まえて、狛江市立中学校に係る部活動等の方針(狛江市部活動ガイドライン)を見直し、運動部活動だけでなく、文化部活動についても適切な休養日の設定等について同じ基準による推進を目指す。

今後の地域連携・地域移行に向けては、指導体制や大会引率等について弾力的な見直しが必要であり、適切に検討する機会を設けていく必要がある。

② 合同部活動試行実施について

円滑な地域連携・地域移行に向けた取組として、課題を踏まえて段階的に休日の部活動を導入することができ体制を構築するとともに、生徒の活動に支障をきたさずに円滑に運営ができることを目指し、休日の部活動に関わる課題を検証し、地域での部活動が持続可能で生涯にわたる豊かなスポーツライフにつながることに資することを目的に、実証事業開始までに拠点校(狛江市立狛江第一中学校)での合同部活動(野球)を実施した。

今後は、単独でチームが編成できる学校の大会参加に関する考え方を整理し、合同部活動として持続的な活動につなげていく必要がある。

③ 地域スポーツクラブ活動体制整備事業(地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業)

●概要

スポーツ庁の地域スポーツクラブ活動体制整備事業に参画し、休日の大会(公式戦)を除く練習及び練習試合を地域部活動(委託事業者による管理運営)として実施した。

	平日	休日(土日祝)
位置づけ	学校部活動	地域部活動
管理・運営	学校	リーフラス株式会社(委託事業者)

●対象部活動

	野球部	ハンドボール部
拠点校	狛江市立狛江第一中学校	
指導者	教員の兼職兼業	地域人材
形態	中学校4校が合同で練習・試合参加	狛江市立狛江第一中学校のみに存在する部活動。他校からも参加可(参加者は0人)

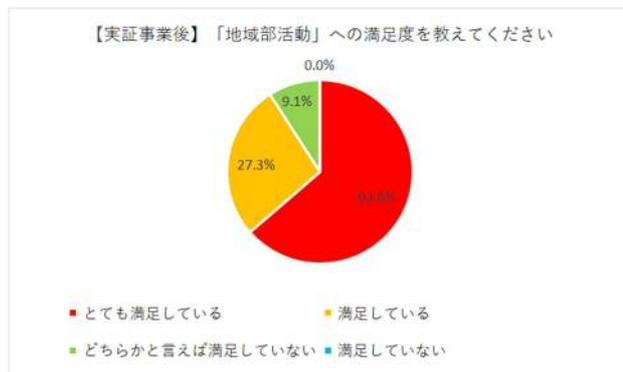
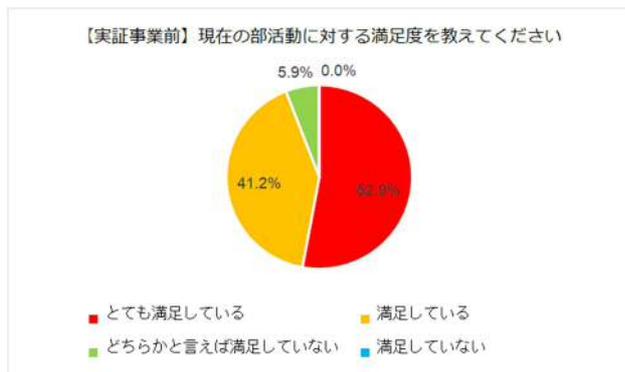
●活動実績

実証事業は、保護者説明会を経て契約直近に行われていた公式戦終了後に開始した。

種目	野球			ハンドボール		
	実施日 (原則日曜日)	活動内容	参加 人数	実施日 (原則土曜日)	活動内容	参加 人数
1	11月19日(日)	基本・応用	13	10月28日(土)	基礎・基本	24
2	11月26日(日)	基礎・基本・応用	12	11月5日(日)	基礎・基本	20
3	12月3日(日)	練習試合	13	11月19日(日)	基本・応用	17
4	12月10日(日)	基本・応用	11	11月23日(木祝)	基本・応用	22
5	12月16日(土)	基本・応用	9	11月25日(土)	基本・応用	24
6	12月23日(土)	基礎・基本・応用	11	12月10日(日)	応用・実戦形式	22
7	1月7日(日)	基本・応用	10	12月16日(土)	応用・実戦形式	26
8	1月8日(月)	基本・応用	9	12月23日(土)	基本・応用	25
9	1月13日(土)	応用・実戦形式	13	1月6日(土)	基本・応用	22
10	1月28日(日)	基礎・基本	6	1月14日(日)	応用・実戦形式	23
11	2月4日(日)	基本・応用	10	2月10日(土)	応用・実戦形式	19
12	2月11日(日)	練習試合	11	2月17日(土)	応用・実戦形式	24
13	2月18日(日)	練習試合	10			

●参加生徒向けアンケート

【部活動等への満足度の比較】



- ・大変な時もあるけど楽しいと思える時も多々あるから。
- ・先輩たちが優しく教えてくれるから。

【部活動に対しての不安や悩み】(実施前のみ)

- ・先生によって指導が違う。
- ・急な日程変更で参加できないと残念な気持ちになる。

【地域部活動でよくなったと感じること】(実施後のみ)

- ・アドバイスが具体的で自分のためになった。
- ・普段の練習では出来ない、実践に近い練習をコーチに教えて貰いすぐためになりました。
- ・接しやすく質問しやすいコーチで全体の雰囲気も良くなった。
- ・コーチの部活は楽しむ気持ちを忘れず、その中で試合に使える技術もたくさん教えていただけてよかった。
- ・全体的に上手くなった。また、友情が深まった。

- ・投げ方のコツを掴めた。

- ・他の戦術ができるようになった。

【地域部活動で、改善して欲しい・欲しかったことについて】(実施後のみ)

- ・2月で終わりではなく、これからも地域部活がしたいです。
- ・試合形式の練習を増やしてほしい。

【その他、全体を通した意見】(実施後のみ)

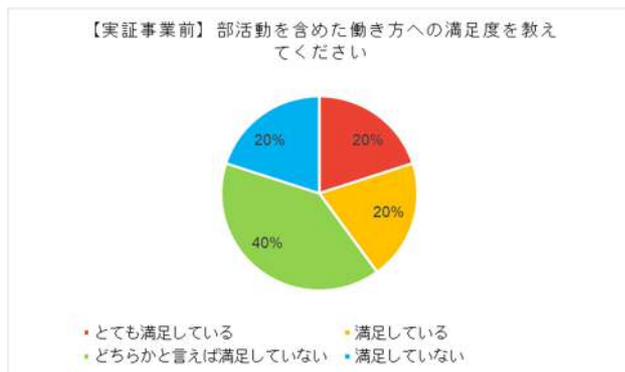
- ・とても楽しく部活ができた。今後も引き続きやっていただきたいです。

- ・指導法がわかりやすかった。
- ・いつもと違う事をするから楽しい。

生徒においては事業実施前も93%が「とても満足している」「満足している」を選択しており、元々の満足度が高かった。事業実施後においても90%を超える生徒が満足感を得られており、自由記述では指導者のアドバイスや指導に対してポジティブな意見が複数寄せられた。

●参加教員向けアンケート

【部活動を含めた働き方への満足度の比較】

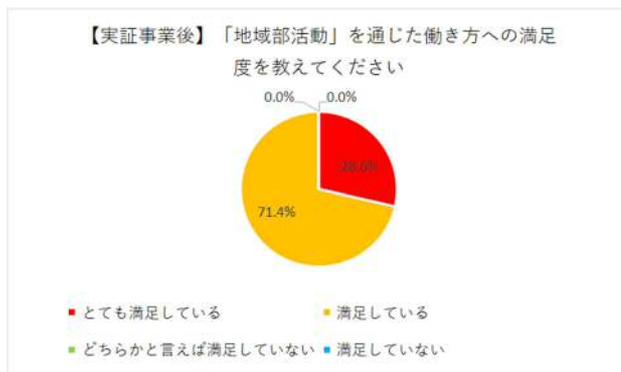


- ・定時外での仕事が状態化している。
- ・放課後、土日、時間が取られすぎて勤務時間が長すぎる。
- ・希望の部活動を指導しているため。

【部活動への関わりによる負担についての比較】

〔実施前〕

- ・土日の部活、審判、保護者の要望、事故の心配。
- ・帰りが遅くなることと休日に仕事に行かなければならないこと。



- ・土日に休みができ、家族との時間を作れた。
- ・報酬がきちんと支払われ、指導者としての自分の自覚も高まり、結果として生徒に対して今まで以上にきちんとした指導を行うことができた。

〔実施後〕

- ・4校合同では他中の保護者等の連携が大変だったが、そこを担う役割をリーフラスがしてくれたので、とてもスムーズに進められた。
- ・休日に休むことができる。

【休日部活動の地域移行等に際して、今後更に期待することや担ってみたい役割、責任など】（実施後のみ）

- ・平日の活動のサポート（休日との練習をスムーズにするため）もお願いしたい。
- ・運営面をお願いしたい。
- ・早急に今後のビジョンを示していただきたい。平日の部活動指導に関しても改革を進めてもらいたい。
- ・ユニフォームの注文や、部費の管理など。
- ・スポーツができる環境を市から作らなければスポーツ環境は変わらない。
- ・平日も地域移行に切り替えて欲しい。

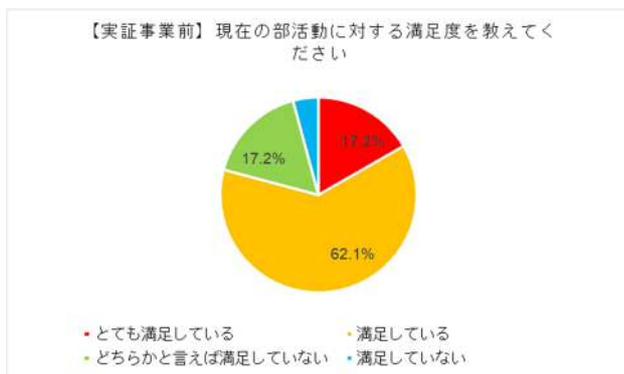
【その他、全体を通じた意見】（実施後のみ）

- ・スケジュール調整で練習できない日があり、子どもたちの活動確保が難しかった。練習試合ができなかったので今後、練習試合についても確認する必要がある。
- ・いい形で運営できるように調整して頑張ってきました。来年度は野球部が対象から外れるかもしれないと噂で聞いたこともありま
- ・す。やらなかったり、では生徒や指導者は困惑するだけなので、来年度も継続していただくようお願いします。
- ・部活動を完全な任意にしてほしい。
- ・数か月ではなく数年かけてやりたいと思った。
- ・平日も地域移行にしてほしい。どうしても教員の業務量が減らないから。

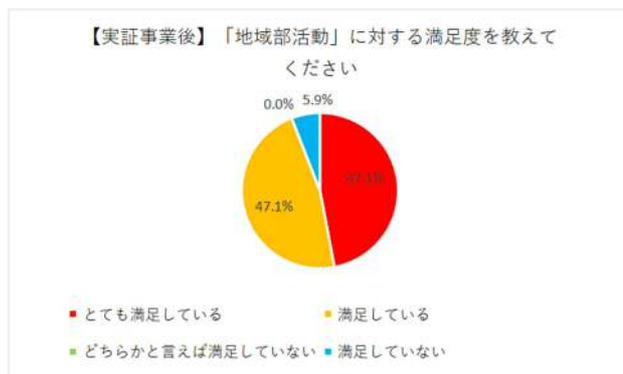
事業実施前では、部活動を含めた働き方への満足度は「とても満足している」「満足している」が40%に留まり、定時外での仕事が常態化しているといったコメントがあったが、事業実施後では「とても満足している」「満足している」が100%となり、休日の出勤が改善された等のコメントが複数あった。

●保護者向けアンケート(抜粋)

【部活動等への満足度の比較】

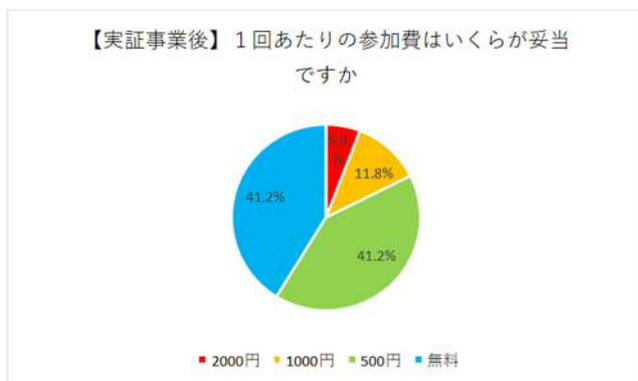


- ・朝練、平日練習、休日の試合、練習等、顧問の先生方が熱心に指導して下さるので。
- ・本人が休まず参加してるため。
- ・熱中症アラート時、屋外の運動が禁止された場合、平日は活動なしとなるが土日祝の場合の活動が停止にならないこと。他県で今夏、部活後中学生が熱中症で死亡した事故などあったので心配です。また、テスト前日までの練習や大会、夏の活動日など、日数が多すぎる。テスト前出席するか欠席するかは手紙が配布されるが、欠席で出すと、休まない子と休む子の間でもめ事になりました。



- ・専門性のある指導者に教えて頂くことが出来る。
- ・練習の内容が楽しいと子どもから聞きました。
- ・部活予定を把握しやすくなり、急な欠席連絡もスムーズに取れたため。これまでだと顧問の先生方は忙しく、部活予定の連絡が遅くなりがちだったため。
- ・怪我の対応など、本当に早急に色々やってもらいこちらもすくに対応でき、本当にありがたいです。
- ・子どもの満足度が高い。
- ・特に普段と変わらず、何がよかったかわからない。
- ・コーチがよかったと思います。
- ・子どもがやる気をもって部活に行くようになった。
- ・スケジュールなどの事務連絡が迅速。
- ・従来の部活動とは違って新鮮さがあり、よかったと思います。
- ・子どもが、教えてくださり内容が分かりやすい!より楽しい!と、満足している様子のため。
- ・欠席連絡がしやすいため。丁寧に返信いただけて安心感がある。活動時間が多少短くなり、他習い事や勉強の時間が少し持ちやすくなったため。

【1回当たりの参加費について】(実施後のみ)



【その他、全体を通じた意見】（実施後のみ）

- ・先生のご負担が減ることはとてもよいと感じています。体調不良や安全面など、通学校の先生が引率でいらっしゃらない時は、少し不安がありましたが、今は安心しております。真夏はできるだけ保護者も見守りたいと思います。
- ・雨の日も筋トレや戦術などして欲しい。

部活動に対する満足度（「とても満足している」「満足している」）については実施前の79.3%から94.2%に向上した。向上の理由として、専門性の高い指導者がいること、予定が把握しやすくなったこと等が挙げられた。なお、今回は保護者負担なく実施しており、保護者負担が生じた場合は地域部活動に求める期待値が上がる可能性がある。保護者負担が発生した場合の1回あたりの参加費については、4割程度が無料で6割程度が有料が妥当といった回答であった。

④ 部活動地域連携推進事業計画について

令和7年度までの改革推進期間における検討課題等を明らかにした。国や東京都、学習指導要領改訂などの動向等を注視しながら、指導者確保や費用負担等の課題の解決に向けて、様々な視点で協議を深め、円滑な地域連携・地域移行を図っていく必要がある。

※ 別紙 狛江市立学校の部活動地域連携推進事業計画（案）

成果と課題

【成果】

- ・実証事業による部活動として、野球部活動に関しては教員の兼職・兼業及びハンドボール部活動では委託業者の派遣指導者による休日部活動を実施することができた。屋外競技であるために天候による中止や大会参加の引率及び運営への参加により実施が難しいこともあり、実施回数が当初の予定より少なくなったが、従前からの生徒の活動は保障することができた。
- ・兼職・兼業により2名の教員による指導が実施できた。学校部活動での指導に対する在り方への気付きがあった。
- ・委託業者の派遣指導者は、競技に対する専門性が高く、生徒に寄り添った指導が行われていた。実施回数が増えるごとに、生徒と指導者の関係性が築かれ、練習内容の充実が図られた。
- ・委託業者と円滑に連携できたことにより、保護者への連絡等を含めて休日部活動の運営に支障を生じることがなかった。
- ・休日の部活動としての施設利用については、拠点校との円滑な連携により用具の使用の方法や施設等も活動に影響を与えなかった。
- ・狛江市立中学校の係る部活動等の方針の改訂を進め、運動部・文化部ともに適切な休養日の設定等に関する共通のガイドラインを定めることができた。
- ・野球部活動では、一中から四中まで、4中学校の生徒が合同部活動として活動することができた。

【課題】

- ・教員の兼職・兼業における指導場面での立場の明確化
- ・休日の活動場所の確保及び周知
- ・休日の部活動に関する費用負担（大会参加、保険料、用具）の検討
- ・平日と休日の活動のつながり（連動性）の確保
- ・教員以外の適切な指導者の確保（研修機会も含む質の担保）
- ・地域クラブ活動としての担い手の発掘
- ・国や東京都等の動向を踏まえたガイドラインや事業計画の適切な見直し
- ・学校によっては単独チームを組むことが出来る現状で、オール狛江で合同部活動を行うことの是非
- ・全ての学校・部活動における公平性を考慮した地域移行・地域連携の方策の検討
- ・公的負担と受益者負担（保護者負担）の適切なバランスの検討

狛江市立学校の部活動地域連携推進事業計画（案）

部活動の地域連携・地域移行に向けた動き

- 【国の動き】
 令和4年6月 運動部活動の地域移行に関する検討会議からの提言
 令和4年8月 文化部活動の地域移行に関する検討会議からの提言
 令和4年12月 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定
- 【東京都の動き】
 令和5年3月 学校部活動及び新たな地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインの策定
 令和5年3月 学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画の提示

少子化の中で、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむことができる機会を確保し、部活動の教育的な意義を継承し、新たな価値が創出されるよう、持続可能で多様な環境を整え、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という意識を共有して、望ましい成長を促進し、健全な育成を図ることに資する。

狛江市教育委員会の動き

- 令和4年12月 狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会の設置
 令和5年1月 第1回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会開催
 令和5年3月 第2回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会開催
 令和5年4月 第3回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会開催
 狛江市立中学校における合同部活動の開始（野球部）
 スポーツ庁「部活動の地域移行に向けた実証事業」実施委託地区に決定
 令和5年6月 第4回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会開催
 令和5年10月 第5回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会開催
 令和5年11月 実証事業開始（野球部・ハンドボール部）
 令和5年12月 第6回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会の開催
 令和6年2月 第7回狛江市立学校の部活動の地域移行に関する検討委員会の開催

検討の方向性

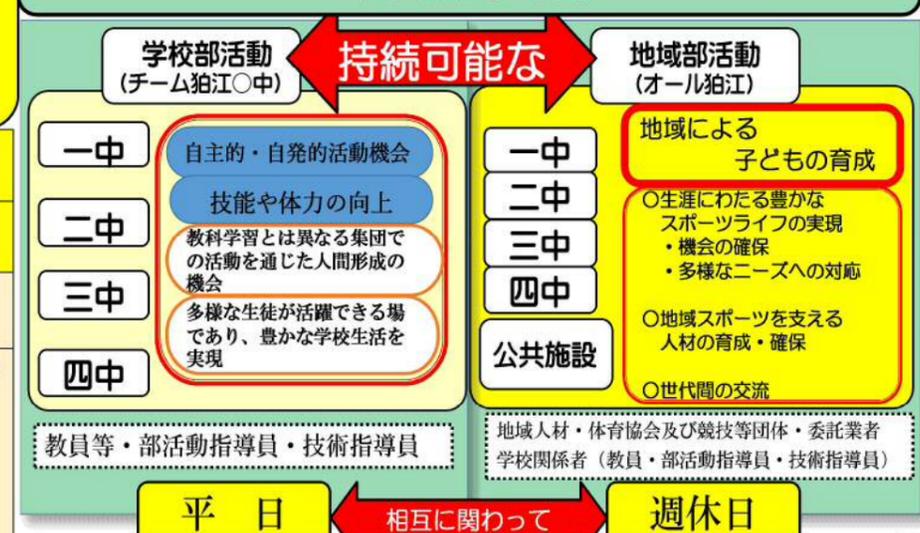
- （1）学校部活動の現状と課題について整理するとともに、持続可能な部活動の運営について協議する。
- （2）新たなスポーツ・文化芸術・科学等の環境整備や支援の在り方、実施するにあたっての方策を協議する。
- （3）休日の部活動における費用負担の在り方及び大会参加の方法、保護者への説明等について協議する。
- （4）部活動指導員等の指導者の確保及び質の向上について、学校の働き方改革の観点も踏まえ協議する。

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降	
フェーズ	改革推進期間				
会議体	部活動の地域移行に関する検討委員会	狛江市立中学校の部活動等推進連絡協議会			
検討・協議内容	<ul style="list-style-type: none"> 合同部活動試行実施 ガイドラインの改訂 推進計画の策定 実証事業（国）の検証 費用負担の在り方 指導者の確保（部活動指導員等の配置等） 支援団体等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携の基本方針の検討 費用負担の在り方 指導者の確保（部活動指導員等の配置等） 支援団体等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針に基づいた地域連携の検討 費用負担の在り方 指導者の確保（部活動指導員等の配置等） 支援団体等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針に基づいた地域連携の検討 費用負担の在り方 指導者の確保（部活動指導員等の配置等） 支援団体等との連携 	
実施部活動	野球・ハンドボール	運動部活動 2 文化部活動 1	休日部活動地域連携の段階的推進	休日部活動地域連携の段階的推進	
地域連携の姿	休日拠点校（一中）	休日拠点校未定	拠点校方式での休日部活動	拠点校方式での休日部活動	
指導者	民間事業者の活用（教員の兼業等）	民間事業者の活用（教員の兼業） 部活動指導員の活用 地域の担い手の発掘	民間事業者の活用（教員の兼業） 部活動指導員の活用 地域の担い手の発掘	民間事業者の活用（教員の兼業） 部活動指導員の活用 地域の担い手の発掘	

【費用負担等の現状と課題】

- 保護者負担は、各校単位で徴収している部費及び個人で使用するユニホーム等の用具費となっている。大会参加費は、部費から捻出しているが市補助金を活用している。国の実証事業や東京都の補助金が見込まれない場合は、休日の合同部活動に関する費用負担の在り方が今後の課題となってくる。
- 生徒のケガ等については、学校管理下の場合は日本スポーツ振興センターの保険が適用される。国の実証事業は、委託事業者の保険が適用される。地域連携の場合は、その主体によって部活動の保険適用の在り方が変わってくる。

目指す姿



【生徒】

- ・在籍する学校にない部活動でも参加できる。
- ・他校との交流により、学校生活への向上心が高まる。
- ・技術、技能の向上が図られ、意欲的に活動している。

【学校】

- ・安全に活動できる環境を整えている。
- ・部活動への関わりについて、保護者・地域の理解を得ている。
- ・スポーツ及び文化芸術・科学活動の拠点となっている。

【保護者・地域等】

- ・部活動を支援し、学校と連携して生徒の成長を見守っている。
- ・部活動に積極的に関与し、生徒の活動を保障している。